

第51回 こくみん共済 coop

小学生作品コンクール

作文と版画 入賞作品集

—茨城県—

テーマ

作文：忘れたくないこと

版画：自由課題

こくみん共済 coop 茨城推進本部

ごあいさつ



こくみん共済 coop
茨城推進本部

本部長

菅 原 功

日ごろより「こくみん共済 coop」の諸活動に対しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

こくみん共済 coop は、営利を目的としない保障の生協（生活協同組合）として、共済事業を運営する福祉事業団体です。「みんなで助けあい、豊かで安心できる社会づくり」を理念にかかげ、働く仲間や、地域の生活者とそのご家族が、安心・安全で豊かな暮らしを築いていくように活動しています。また、共済事業に加え、社会貢献活動や文化教育活動にも積極的に取り組んでいます。そして本年度も、その一環として「子供の健全育成」を目的とした作品コンクールを開催させていただきます。

さて、昨年は元日から能登半島地震が発生し、8月には日向灘沖地震に伴い南海トラフ地震臨時情報が発令されるなど各地で地震が頻発しました。また、台風や線状降水帯による風水害、降雹や落雷による被害も至るところで発生しました。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

こくみん共済 coop の共済事業の始まりは、1954年に「誰もが入れる保障があれば、安心して働ける」、「みんなが力を合わせれば実現できる」という思いが結実し、大阪の地で火災共済事業がスタートしました。そして2024年、働く仲

間のたすけいの象徴である「住まいの共済（火災共済・自然災害共済）」は、誕生から70周年を迎えることが出来ました。これもひとえに、皆さまの支えがあったからこそだと感謝しているところです。この70周年を契機に、あらためて皆さまとともに「暮らしを守る」取り組みを進めてまいります。引き続きのご協力をお願い申し上げます。

現在、こくみん共済 coop の保障ラインアップは、お住まいの保障以外にも、それぞれのライフスタイルに沿った各種共済をご用意しております。お車の保障は「マイカー共済」、生命・医療の保障は「こくみん共済」など、生活者に寄り添ったお役立ち活動を実施しています。ぜひ、こくみん共済 coop の窓口へお気軽にご相談ください。

そして、1973年（昭和48年）から実施してきた小学生作品コンクールも、本年度51回目を迎えることができました。この作品コンクールは、次の世代を担う子どもたちの表現力や創造力の醸成と、心の成長を願いながら取り組んでき

ました。今回も県内の児童の皆さんから素晴らしい作品をお寄せいただき、本当にありがとうございます。そして、応募いただいた「作文」と「版画」の作品を出来るだけ多くの方々にご覧いただくために、今回も「茨城県作品集」を発刊いたしました。ぜひ、今後の作品製作に役立ていただければ幸いです。こくみん共済 coop 茨城推進本部は、小学生作品コンクールを通じて、子どもたちの「やさしさ」や「おもいやり」の気持ちを育む場として、お役に立てるよう引き続き取り組んでまいります。

最後に、作品コンクールの実施にあたりご指導いただきました各学校の先生方、保護者の皆さま、ご後援いただきました茨城県、茨城県教育委員会、NHK水戸放送局、(株)茨城新聞社、(株)LUCKY FM 茨城放送、ならびに作品の審査を行っていただきました審査員の先生方に感謝を申し上げます。ご挨拶いたします。ありがとうございました。

第51回 こくみん共済 coop

小学生
作品コンクール
作文と版画

｜ 入賞作品集 ｜ 茨城県 ｜

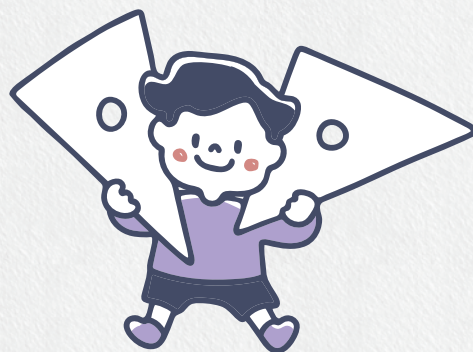
目 次

作文の部

金賞作品	1
選評・総評	4

版画の部

コンクール入賞者	5
金賞作品	7
銀賞作品	13
学 校 賞／審査員奨励賞	19
総 評	21
応募学校一覧	23
これまでの作品テーマ	24



継続は力なり〜私の挑戦〜

桜川市立雨引小学校（6年） 篠崎 灯里さん

継続は力なり〜私の挑戦〜

桜川市立雨引小学校 六年 篠崎 灯里

「高く、遠く。」

心の中で、何度も自分に言い聞かせながら、砂場を見つめていました。スタートの合図を待って、フーッと深呼吸をして、助走の一步を踏み出しました。

私は、幼稚園の年長の時から七年間、陸上を続けています。走ることが大好きで、クラブの練習にはほとんど休まずに参加してきました。

しかし、高学年になると、背が小さい私は、どうしても周りに体格負けをしてしまい、大会に出ても、短距離走の記録が伸び悩み、自信を失いかけていました。そんな時、コーチに、

「灯里ちゃんは、足のバネもあるし、瞬発力もあるから、走り幅跳びをやってみたら？」と勧められました。そこから、私の走り幅跳びへの挑戦が始まりました。

練習では、助走のために、走り込みや加速

走など、短距離走の練習も続けながら、砂場での助走と踏切の練習が加わりました。毎回靴の中は砂だらけで、靴下は真っ黒になったけれど、そんなことも気にならないくらい夢中になりました。始めてすぐの大会では、ようやく三メートルに届くくらいの記録でしたが、練習を重ねるうちに、だんだん記録が伸びていき、少し自信ができました。

六年生になり、市内陸上記録会がありました。私は、走り幅跳びに出場することになり、

学校での放課後練習が始まりました。陸上練習リーダーに立候補して、声かけなどをしながらみんなと協力して大会に向けて練習に励みました。休みの日には、実際の会場に行き、踏切板までの助走距離や歩数を何度も研究したり、どこが一番スピードにのったまま跳べるか、動画に撮って自分の動きを分析したりしながら練習を繰り返しました。その時の私には、「がむしゃら」という言葉がぴったりだったのではないかと今になって思います。

そして迎えた本番の日。結果は、三メートル二十一センチの自己ベストで、市で三位に入賞することができました。いつも練習に付き合ってくれて、応援に来てくれた家族の喜ぶ顔が見られて、うれしくてほんと安心したのを覚えています。

その後、暑かったこの夏も練習に打ち込みました。大会になると、緊張してフールを恐れてしまい、どうしても踏切板より手前で踏み切ってしまうことが私の課題でした。

「克服するには、自分の殻を破らないと前には進めないよ。」

というコーチの言葉で、私の中の何かが吹っ切れた気がしました。

そしていよいよ、小学生最後の県大会に臨みました。陸上クラブも今年で卒業となり、中学校には陸上部がないため、この大会が私の陸上の集大成になります。いつも以上に気合いが入ると同時に、緊張で胸がいっぱいになりました。しかし、今までの練習の日々

や、コーチの言葉をふと思い返すと、

「今日が最後。この緊張を楽しんじゃおう。」という不思議な感情がわいてきて、悔いのない競技をしようと思に誓いました。招集時間のぎりぎりまで助走距離の確認をして、ここからは、自分との戦いです。深呼吸をして、「高く、遠く」を意識して、思い切り跳んだ結果は、三メートル六十二センチ。それまでの自己ベストを三十センチ以上更新し、五位入賞で有終の美を飾ることができました。

最後の大会で結果を残せたことは、私にとって大きな自信になりました。そして、練習を続けることで、その結果が「記録」という数字で自分に返ってくる陸上のだいご味を改めて味わうことができました。陸上を通して「継続は力なり」の精神を学び、続けることの大切さを実感しました。

最後に、私には、もう一つ続けてきたことがあります。それが、この作文コンクールへの挑戦です。初めて挑戦した一年生の時は、

原稿用紙の小さなマスに文字を書くことだけで精一杯でした。はみ出して消そうとしたら紙が破れてしまい、泣きながら書き直したこともありました。五枚もの原稿用紙をどうやって埋めたらいいのか、机の前で頭を抱えたことも、一度や二度ではありません。しかし、学年が上がるにつれて、どんな言葉で自分の気持ちを表現しよう、どんな言葉を使ったら相手に伝わりやすいだろう、と考えながら、楽しんで書くことができるようになりました。

—

今では、作文を書くことが好きになり、「今年のテーマは何かな？」と楽しみでワクワクしている私がいきました。六年生の今回で、このコンクールへの挑戦も最後になります。今まで書いた自分の作文を読み返すと、その時の私が考えていたことを思い返し、自分の成長を少し実感することができました。これからも「継続は力なり」の精神を忘れずに、書くことを続け、自分の字で、自分の言葉で、自分を表現することを大切にしていけます。

プロフィール

灯里さんはいつも前向きで、どんなことでも自分からやってみようという気持ちをもつて学校生活を送っています。6年生になつてからは、保健委員長やスポーツクラブ長を務め、他学年の児童との活動でもリーダーシップを発揮しています。また、習字や作文に加え、陸上競技や卓球の練習にも熱心に取り組んでいます。信念をもつて努力を重ねることで技術を向上させ、成果とし

て表すことができます。今回、昨年度に続いて金賞という素晴らしい賞を受賞し、私もとてもうれしい気持ちでいっぱいです。小学校を卒業し、次のステージへ進む中で、幾度となく立ちほだかる壁があつても、粘り強く努力を重ねることができるよう灯里さんなら乗り越えてくれると思います。灯里さんの更なる活躍を心から応援しています。

(担任教諭 小林 佳輔)



選・評 総 評

審査員

●
昌子 佳広
茨城大学教育学部教授

他2名

篠崎灯里さんは、作文の最後に書かれている通り、一年生の時からこの作文コンクールに応募・挑戦を続けられ、今回で四回目（一・三・五・六年生）の金賞受賞となります。そして中央コンクール審査においても過去二度の学年最優秀賞（三年生・五年生）を受賞されています。篠崎さんが二年生のとき、二〇二一年度は「コロナ禍」のために当コンクールは「中止」となり、それ以降応募数が激減してしまいましたが、篠崎さんはずっとこのコンクールに挑戦し続けてくれました。今回の作文の題は「継続は力なり〜私の挑戦〜」というものでしたが、篠崎さんが一年生の時のこの作文コンクールのテーマが「新しく挑戦したこと」で

あり、それ以来の取り組みがまさしく「継続は力なり」を体現したものであると思います。毎回それぞれのテーマに基づいて自分の体験や思いを見つめ直し、言葉ひとつひとつを、丁寧な字で刻み込むようにして作文を書き続けてくれました。

今回の作品は、陸上競技・走り幅跳びへの取り組みとその思いが綴られたものです。篠崎さんの作文は、できごとの様子や状況、またそのときの自分の心の動きを表す描写力によって支えられています。それによって、読む側にそれらがありありと伝わってきます。それは前にも述べたように書くことをしっかり考え、たうえで、言葉ひとつひとつがよく吟味され、選び抜かれているからだ

と思います。日頃から読書などを通してたくさんの言葉に出会い、豊かな言葉の生活を送られていることもうかがわれます。そしてその言葉が、一年生以来一貫して、一点二画もおろそかにしないしっかりした字によって書かれているのです。

「コロナ禍」以降、この作文コンクールへの応募数が減ったと書きましたが、その頃同時に、学校の授業でICT機器の導入が進められ、現在どの授業でもいわゆる「タブレット端末」などを用いて調べたり発表資料を作成したりすることがあたりまえになりました。一方、筆記具を持つてノートに記述するという機会が減ってきました。原稿用紙に向かつて作文を書くということ、その

時間も大きく減っているのでしょう。言葉も文字も、「クリック」や「タップ」して出てきた候補から選ぶ、ということが普通になりました。このように、私たちの言葉や文字の文化は大きく変わっていくところなのですが、果たしてこれでよいのでしょうか。

改めて、篠崎さんの六年間の作文への取り組みは、本当に素晴らしいものであったと思います。審査員として、高い評価を与えると同時に、感謝したい気持ちです。どうぞ、中学生になっても、さらに高校生、大人になっても、言葉を大事に、書くことを大事にし続けてください。

| 版画の部 | コンクール入賞者

(敬称略)



各学年 1 点

茨城県知事賞

冬の空にはばたくまぼろしの鳥 つくば市立栗原小学校 (4 年) 保 美 幸

こくみん共済 coop 茨城推進本部長賞

こうきゅうパンやでドーナツを買う犬さん 土浦市立東小学校 (2 年) 小 島 瑚 牧

茨城県教育長賞

うみをぼうけん 坂東市立七郷小学校 (1 年) 中 尾 晴

NHK 水戸放送局長賞

カジキの大群 水戸市立柳河小学校 (6 年) 鹿志村 旺 莉

茨城新聞社長賞

はなやかな海 稲敷市立沼里小学校 (5 年) 森 作 陽 菜

LuckyFM 茨城放送社長賞

クラゲ 見つけたよ 茨城県立水戸聾学校 (3 年) 高 槌 太 一



各学年 2 点

うみの生きものとあそんだよ つくば市立栗原小学校 (1 年) 東 愛 樹

水ぞくかん 常陸大宮市立緒川小学校 (1 年) 小 室 晴 陽

大好きな動物といっしょ つくば市立栗原小学校 (2 年) 玉 田 木乃花

大好きなどうぶつ つくば市立栗原小学校 (2 年) 原 瑞 貴

高く真上に晴れた日 稲敷市立沼里小学校 (3 年) 近 藤 佳 菜

ロボットたちの楽しいサッカー 常陸大宮市立緒川小学校 (3 年) 下 杉 和 真

しゃぼん玉と遊ぼう 桜川市立桃山学園 (4 年) 宮 田 紗 和

おもしろくて楽しい家ぞく 常陸大宮市立緒川小学校 (4 年) 吉 澤 陽

ゴジラと土星 茨城県立水戸聾学校 (5 年) 園 部 智 一

魔法陣 水戸市立柳河小学校 (5 年) 稲 葉 優 大

猫とひまわり 茨城県立水戸聾学校 (6 年) 大 塚 芭 瑠

自画像 常陸大宮市立緒川小学校 (6 年) 田 澤 怜 来



各学年 5 点

うれしいかお	稲敷市立沼里小学校	(1 年)	川 村 乃 葵
さんたさん	つくば市立栗原小学校	(1 年)	アパソング ファジルラ
ゆきだるまといっしょに	つくば市立栗原小学校	(1 年)	石 濱 恒 介
しまえながきれいな木にすわったよ	つくば市立栗原小学校	(1 年)	小 林 司 彩
なわとび	常陸大宮市立緒川小学校	(1 年)	飯 塚 礼 実
大好きなどうぶつ	つくば市立栗原小学校	(2 年)	梅 澤 翔 太
大好きなどうぶつ	つくば市立栗原小学校	(2 年)	近 野 翠 紀
大好きなどうぶつ	つくば市立栗原小学校	(2 年)	塚 田 陽 輝
大好きなどうぶつ	つくば市立栗原小学校	(2 年)	牧 野 梨 佐
ぼくとオオカミが走っているところ	常陸大宮市立緒川小学校	(2 年)	茂 呂 龍 希
空に向かってとぶ	稲敷市立沼里小学校	(3 年)	石 島 世 柳
ルンルン高く真上にジャンプ!!	稲敷市立沼里小学校	(3 年)	海老原 咲 音
高く真上に大きくジャンプ	稲敷市立沼里小学校	(3 年)	馬 場 縁
タツノオトシゴとマグロのさんぽ	坂東市立七郷小学校	(3 年)	古 川 遼 真
ムーンウルフ	水戸市立柳河小学校	(3 年)	荻 津 晴 空
夕方の空を飛ぶにじ色のチョウ	つくば市立栗原小学校	(4 年)	浦 井 悠梨香
ジャングルを飛び回るにじいろの鳥	つくば市立栗原小学校	(4 年)	高 橋 未 来
令和から昭和へタイムスリップした軽トラ	土浦市立東小学校	(4 年)	小 島 虎 徹
レッサーパンダ	常陸大宮市立緒川小学校	(4 年)	會 澤 七 夏
レインボーシャーク	水戸市立柳河小学校	(4 年)	佐 藤 虎 伯
夕日の飛魚	稲敷市立沼里小学校	(5 年)	大 川 悠
どくどくカレイ	稲敷市立沼里小学校	(5 年)	岡 田 大 和
飛びはねる	稲敷市立沼里小学校	(5 年)	カリンガサン カスピアン
にんじん	常陸大宮市立緒川小学校	(5 年)	宮 永 花
フルーツタルト	水戸市立柳河小学校	(5 年)	小野田 斗 羽
自画像	常陸大宮市立緒川小学校	(6 年)	大 賀 心 暖
自画像	常陸大宮市立緒川小学校	(6 年)	岡 崎 新
自画像	常陸大宮市立緒川小学校	(6 年)	小 室 琴 羽
自画像	常陸大宮市立緒川小学校	(6 年)	鈴 木 颯 斗
贈り物	水戸市立柳河小学校	(6 年)	栗 原 朔



審査員奨励賞
つくば市立栗原小学校



冬の空にはばたくまぼろしの鳥

つくば市立栗原小学校（4年） 保 美幸さん



プロフィール

保美幸さんは、明るく、前向きな気持ちで学校生活を送っています。今年は、学級や学校のために活動したいと積極的に校外学習実行委員や代表委員となつて活動し、責任を果たしました。

今回の作品は、直感で『色鮮やかなカワセミを描きたい!』と思つたそうです。また、リアルさを追求して構想を練り、初めて使用する彫刻刀の特徴を生かしながら版木を削っていくことに没入し、自分の作りたい作品のゴールに向かって、試行錯誤することを楽しんでいました。仕上がつた作品は、構図のダイナミックさや着色の美しさ、カワセミのもつ存在感が画面一杯に表現されています。

（担当教諭 小林 恵）

選評

画面いっぱい翼を広げたまぼろしの鳥、丸刀や三角刀などの彫刻刀の持つ彫り味を生かしながら、羽の一枚一枚、体の毛羽立ち、更にははばたきで舞い上がったような木の葉、背景の風の流れを表したかのような丸刀の彫りにと様々な彫りの工夫が見られ、細部までもとても根気強く丁寧に彫って刷り上げた彩色木版画です。鳥は彩り鮮やかに彩色し、背景は寒色でしっかりと彩色してあり、まるで、静かな森の中にまぼろしの鳥の大きな翼のはばたきや風の音までもが聞こえるかのように感じさせます。優雅で神秘的で雄大なまぼろしの鳥をみごとに表現することができました。とても目を引くきれいな作品です。

こくみん共済 coop 茨城推進本部長賞

金賞

土浦市立東小学校（2年） 小島 瑚牧さん

こけきゆう。パンやでドーナツを買う犬さん



プロフィール

瑚牧さんは、周りをよく見て行動することができています。友達が困っているとすぐに声をかけたり、落とし物やゴミが落ちてしていると拾ったりするなど、優しい気持ちの持ち主です。休み時間は、絵を描くことが多く、絵を描いている瑚牧さんの周りには笑顔があふれています。

猫が好きで、今回の作品も「ねこのパン屋さんをつくりたい」とすぐにテーマが決まりました。犬のお客さんは、奥さんの誕生日のお祝いでドーナツを買いに来ています。お家でも、ミニチュアを使った人形遊びやお絵かき、工作などをして遊んでいるので、はさみで上手に切りながらつくっていました。高級なパン屋さんなので、内装にもこだわって作品を仕上げることができました。

（担当教諭 森 智美）

選評

ていねいな作業で版づくりをすすめているのがわかる作品です。おいしそうなパンがきちんと並べてあり、ねこさんのお店もきれいで有名なお店と思うように感じられます。自分の考えでこれだけのすばらしいお店を作れるのだから大人になったらもっとすてきなお店が開店できるかもわかりません。自分のほんとうのお店をがんばって作りましょう。



うみをぼうけん

坂東市立七郷小学校（1年） 中尾 晴さん



プロフィール

晴さんは、明るくはきはきとしていて、いつも元気なあいさつをしています。英語科の学習が大好きで、アルファベットの歌を歌ったりミッスィングゲームをしたりと元気いっぱい活動しています。絵を描くことは、入学当初「少し苦手なんだ」と言っていたが、いろいろな絵を描いているうちにだんだん楽しく描けるようになってきました。今では、工夫して表すことに積極的に取り組んでいます。

今回の作品は、広い海の中を自由に泳ぐ魚たちを想像し、みんなで冒険している様子を表現しました。すてきなものをたくさん見つけてうれしくなったところだそうです。青いインクをスポンジでつける作業を楽しみながら丁寧に行っていました。ほんわかとした温かい作品に仕上がりに、優しい晴さんらしさが表れているように思います。

（担任教諭 後藤 悦子）

選評

ぼくの考えた海の中には十一匹きの白い魚が泳いでいます。全部同じ魚はいません。紙をうまく使って深い水の中を表わせるように版づくりに成功しましたね。にぎやかで美しい世界がひろがっています。あとからかきたされたと思われる黒い細い線と目玉らしい丸と赤やみどり色の部分がひかえめで、それぞれがうまくその役わりをはたしています。たぶん楽しい気分で作業を進めることができたと思われます。



カジキの大群

水戸市立柳河小学校（6年） 鹿志村 旺莉さん



プロフィール

鹿志村旺莉さんは、穏やかでいつもニコニコしています。友達とも仲良く生活しています。毎日、家庭学習や自主学習に意欲的に取り組み頑張っています。また、絵を描いたり、工作を作ったりするのが好きで、図工の時間は生き生きと活動しています。細部にまでこだわって作品作りを楽しんでいます。

今回の作品は、かじき鯨の版を何度も刷り重ね、一つの作品に仕上げました。版の向きや版を重ねたり工夫して刷ることで鯨の勢いや量感を表現できました。旺莉さんの好きなものを作品にできて、とても嬉しそうでした。

（担当教諭 長谷川 恵子）

選評

大きなカジキと小さなカジキをそれぞれ別の版木に彫り、その大小のカジキにそれぞれインクをのせ、画面の構成を考えて印刷した構成版画といえる作品です。大きなカジキと小さなカジキの背びれ尾びれや体の簡略化した線を勢いよく大胆に流れるように彫ったことにより、力強く速くそして勢いよく泳ぐカジキの姿がみごとに表現できました。また、大小のカジキの遠近や微妙な傾きを考えた配置や構成により、群れ泳ぐカジキの大群をうまく表現することができました。更によく見るとカジキの目が笑っているようです。皆で楽しそうに泳ぐ様子も表現され、いっそう作品に勢いをつけているように感じさせるステキな作品となりました。



はなやかな海

稲敷市立沼里小学校（5年）

森作

陽菜さん



プロフィール

陽菜さんは、何事にも丁寧にコツコツと取り組んでいます。下級生の面倒見がよく、休み時間に一緒に遊んだり、縦割り班活動でわからないことを丁寧に教えてあげたりするやさしい姿が見られます。また、学習のときには、自分の考えや友達の考えをしっかりとノートにまとめる几帳面さがあります。図工の授業では、双眼実体顕微鏡を覗いている様子を丁寧に描写し、完成度の高い作品となりました。今回の作品は、「はなやかな海」というテーマのもと、「きれいなヒレの魚」を多色版画で完成させました。まわりには曼荼羅模様を取り入れ、幻想的な光景を表現することができました。

（担任教諭 嶋田 錬）

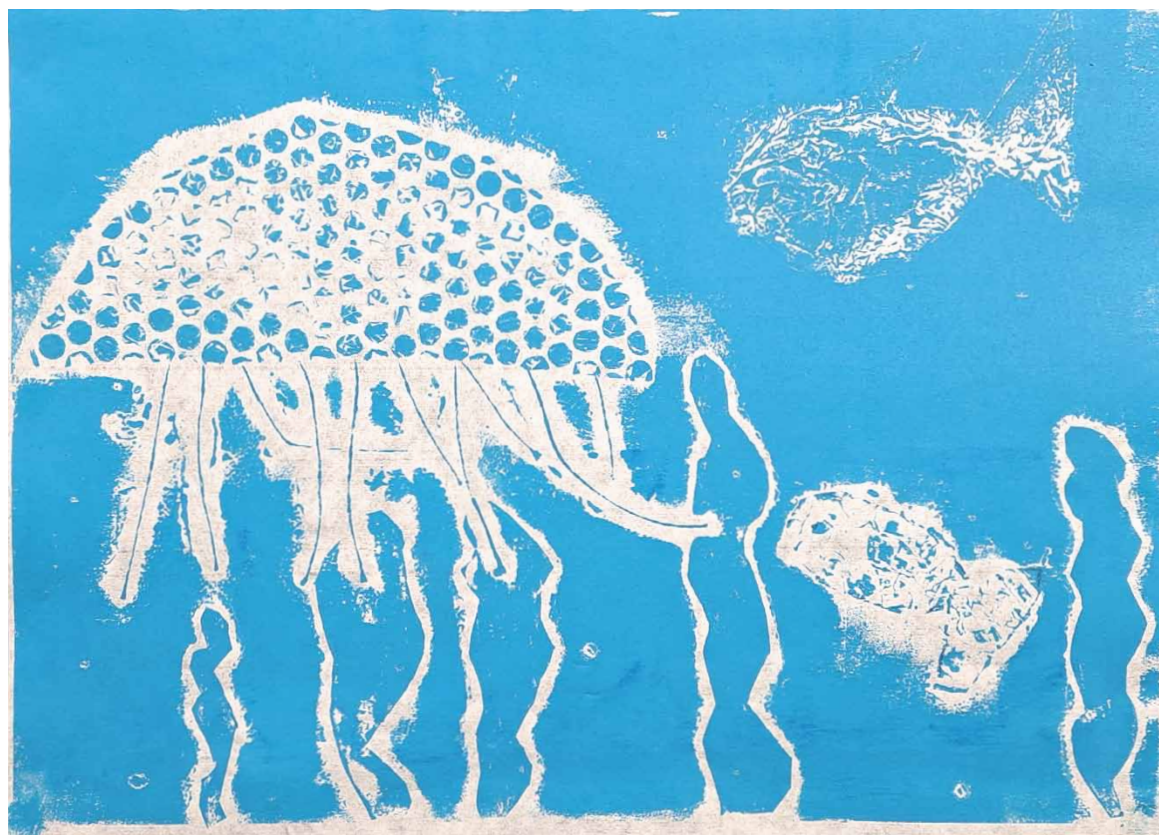
選評

海のなかを泳ぐ魚を中央に配置し、配色や模様を考え計画的に版木を彫り進めながら、色をのせ印刷するのは大変だったことと思います。そのがんばりがあって、彫り進み版画の特徴を上手に生かした味のある目を引く作品ができました。魚を中心に不思議な形による画面構成、またインクののりと発色がよい刷り上がりも良く、寒色と暖色の2色のシンプルな配色も目を引きました。穏やかな海水の流れ、海藻でしょうか不思議な形が漂っています。そして、尾びれの大きな魚がゆらゆらりと優雅に泳ぐ様子から、まさに「はなやかな海をめぐ」に表現できました。見る者が穏やかな気持ちになる作品です。



クラゲ見つけたよ

茨城県立水戸聾学校（3年） 高槌 太一さん



プロフィール

高槌太一さんは、明るく元気で、体を動かすことが大好きです。任された仕事は、一生懸命取り組みんでいて、友達と毎日楽しく学校生活を送っています。

今回の版画作品は、好きな生き物をテーマにしました。遠足で行った水族館で見たクラゲを、様々な材料を使い、大きく描いて表現しました。工夫したところは、細い紐を使い、優雅に漂うクラゲの触手を表したところです。クラゲの他にも、魚の友達を描き入れたり、海藻の配置にこだわったりしました。楽しい海の様子が伝わる、すてきな作品になりました。

（担任教諭 齋藤 ゆみ）

選評

たぶん大洗の水族館に行った時のことかなと思いますが、いろいろな魚を見ているうちにすきとおった生物がふわふわ浮いているのを見つけ「あっクラゲだ」と気がついておどろいた時の事がはつきりとわかるように描かれています。そしてまわりにいた魚も、海藻もすきとおってしまったように描かれていて楽しい作品となりました。そしてほかに何もないのが、ずばり水の中という情景がよく表われています。



うみの生きものと あそんだよ

つくば市立栗原小学校（1年）
東 愛樹さん



選評

大きな魚に乗っている愛樹ちゃんは両手をひろげてとても楽しそうですね。まわりにいる海の中の魚たちもいっしょになっているようですね。



水ぞくかん

常陸大宮市立緒川小学校（1年）
小室 晴陽さん



選評

魚のほつから見られているので、ぼくは「ここにいるよ。」と元気百ばいの感じがうまくあらわされています。



選 評

版づくりのハサミの使い方や色うつしのやり方などていねいな作業が目立ちきれいな絵が出来ましたね。

銀賞

大好きな動物といっしょ

つくば市立栗原小学校（2年）

玉田 木乃花さん



選 評

まったくふしぎな動物を考え出しましたね。ひとつはこまかい部分がたくさんあり、もうひとつは青い色の頭でっかちとふしぎですね。

銀賞

大好きなどうぶつ

つくば市立栗原小学校（2年）

原 瑞貴さん



高く真上に晴れた日

稲敷市立沼里小学校（3年）

近藤 佳菜さん



選評

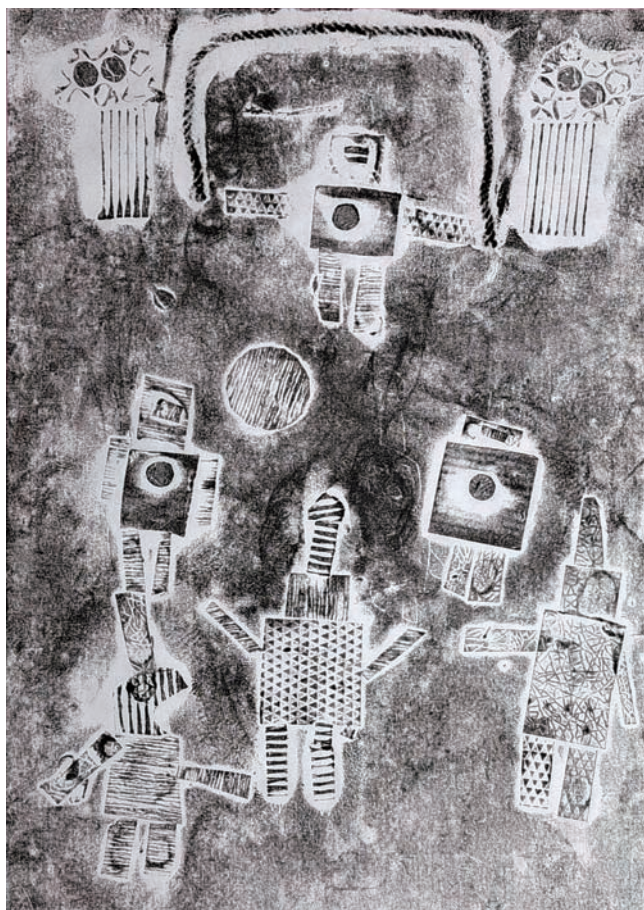
こまかいところまでハサミを使っていないに版づくりをしているところがすばらしい。あとからつけた葉っぱの色が秋になっていましたね。



ロボットたちの 楽しいサッカー

常陸大宮市立緒川小学校（3年）

下杉 和真さん



選評

サッカーをしているのがロボットというのがおもしろいし、グラウンドを上から見たり、ロボットを横から見たりしている活発な三年生らしいですね。



選 評

花や星そしてしゃぼん玉。キャラクター化された図案を思い切りよくのびのびと彫り、色とりどりに彩色していき楽しそうな雰囲気が出ています。しゃぼん玉が舞うなか今にも踊り出しそうな花たち、まるでリズムミク的なメロディが聞こえてくるようなかわいいファンタジーな作品です。

銀賞

しゃぼん玉と遊ぼう

桜川市立桃山学園（4年）

宮田 紗和さん



選 評

丸刀を中心に思い切りのびのびと彫り上げた印刻の作品です。みんなニコニコ楽しそうな笑顔です。お花や鳥や蝶までもうれしそうに家族のまわりを囲み舞い、いっしょに笑い歌っているかのようです。ほのぼのとした幸せいっぱいが伝わってくるような作品になりました。

銀賞

おもしろくて楽しい家ぞく

常陸大宮市立緒川小学校（4年）

吉澤 陽さん



ゴジラと土星

茨城県立水戸聾学校（5年）
園部 智一さん



選評

一版多色刷り木版画の特徴を生かし、大胆で力強い彫りと勢いのある彩色により、力感にあふれた迫力のあるゴジラを表現できました。また宙に浮く土星とゴジラの構成、台紙の赤、宙の青、ゴジラの黄、大地の緑、この原色が見る者に不思議さと力強さを感じさせる作品です。



魔法陣

水戸市立柳河小学校（5年）
稲葉 優大さん



選評

一つの版木に矢羽根模様の1/4の円形とデザイン化した三角の模様を細やかに丁寧に彫りました。その版それぞれに4色のインクをのせて刷り、色面構成により中央に大きな丸い円、そう魔法陣が出現しました。まさに見る者にとって、不思議でファンタジックな作品となりました。

銀賞

猫とひまわり

茨城県立水戸聾学校（6年）

大塚 芭瑠さん



選評

背景は花壇にあるネットでしょうか。その前にあるひまわりを花びら一枚一枚まで陽刻で丹念に彫っています。また、彩色も優しく温かさを感じさせます。ひまわりをジッと見つめ見上げる猫、その表情から猫とひまわりが何かお話ししているようなほのぼのとしたかわいらしい作品です。

銀賞

自画像

常陸大宮市立緒川小学校（6年）

田澤 怜来さん



選評

彩色木版画として白黒のバランスもよく、丁寧に彫られ色もよくのっています。本でしょうか、タブレットでしょうか、顔の表情も豊かで静かに目を通している様子を、また背景の中央に向かう斜めの線彫りが、集中している雰囲気を出し静けさを感じさせる作品です。



つくば市立栗原小学校



プロフィール

栗原小学校は歴史と伝統のある学校です。地域に愛され、令和7年度には節目の創立150周年を迎えます。また、近隣の新興住宅の開発により、年々児童数が増加傾向にあり、令和8年度には分離による新設校開校が予定されています。

同年4月、本校は「小規模特認校」として市内どこからでも通学できる学校へと進化します。特色ある教育の実践を目指し、探究学習を基軸とした学びのスタイルに転換することで、自律的な学習者の育成に取り組んでいます。

図工の時間には、一人一人が作品制作に熱中できる課題の設定や児童の発想を最大限に生かせるよう自由進度学習を取り入れる等、児童の探究的な学びを支援しています。今回の版画制作は多くの児童が自分の満足のいく作品を制作することができ、その結果がこの度の審査員奨励賞受賞につながりました。児童・教師とも光栄に感じています。



公式キャラクター ピットくん・ピットネネ

を審査員奨励賞に選出しました。
おめでとございます。

今回も全学年で応募された常陸
大宮市立緒川小学校の三年連続最
優秀学校賞はならず残念でした。
来年度期待しています。

●テーマ(主題)について

いろいろな作品コンクールでは、
出品カードとか出品票とかいわれ
るものが作品裏面に貼付されてい
ます。そこには、作品の題名や作

者の学校名・学年・氏名などが記
載されていて、審査の折りにとお
よそ目を通しますが、特に見るの
は題名です。題名には作者の思い
が集約されていることが多く、ど
んな思いで製作されたか読み取れ
ることが多いのです。

しかし、その作品製作の導入時に
子どもたちの生活とは離れた題材名
が教師から提示されることも考えら
れます。画一的な題材で子どもの自
由な発想を束縛していないかと思わ
れる傾向の作品も少なからず目にす

るからです。教師の提示した題材名
から、子どもひとりひとりの見方や
感じ方が基礎となり、その時の感情
を大切にすることから出発したその
子なりのテーマ意識をはっきりさせ
たいものです。

題名をどう付けるか、子どもひ
とりひとりがテーマをどう考え、
どう表現したいと思っているかを
できるだけ教師は読み取り、支援
したいものです。つまり題名は、
自分とのかかわりをどのように感
じたり思ったりしているか、自分

を表す自分の考えや気持ちをはつ
きりさせるものだと思っています。

●おわりに

ここ二十年・二十年で版表現の題
材も版種も大分変わり、子どもた
ちの環境も変わりました。しかし
子どもたちの夢や表現の喜びは、
これからふくらんでいくものと
思います。

来年の応募も楽しみにしていま
す。



応募学校一覧

●常陸大宮市

常陸大宮市立緒川小学校

●水戸市

茨城県立水戸聾学校

水戸市立柳河小学校

●石岡市

石岡市立吉生小学校

●土浦市

土浦市立東小学校【個人】

●稲敷市

稲敷市立沼里小学校

●つくば市

つくば市立栗原小学校

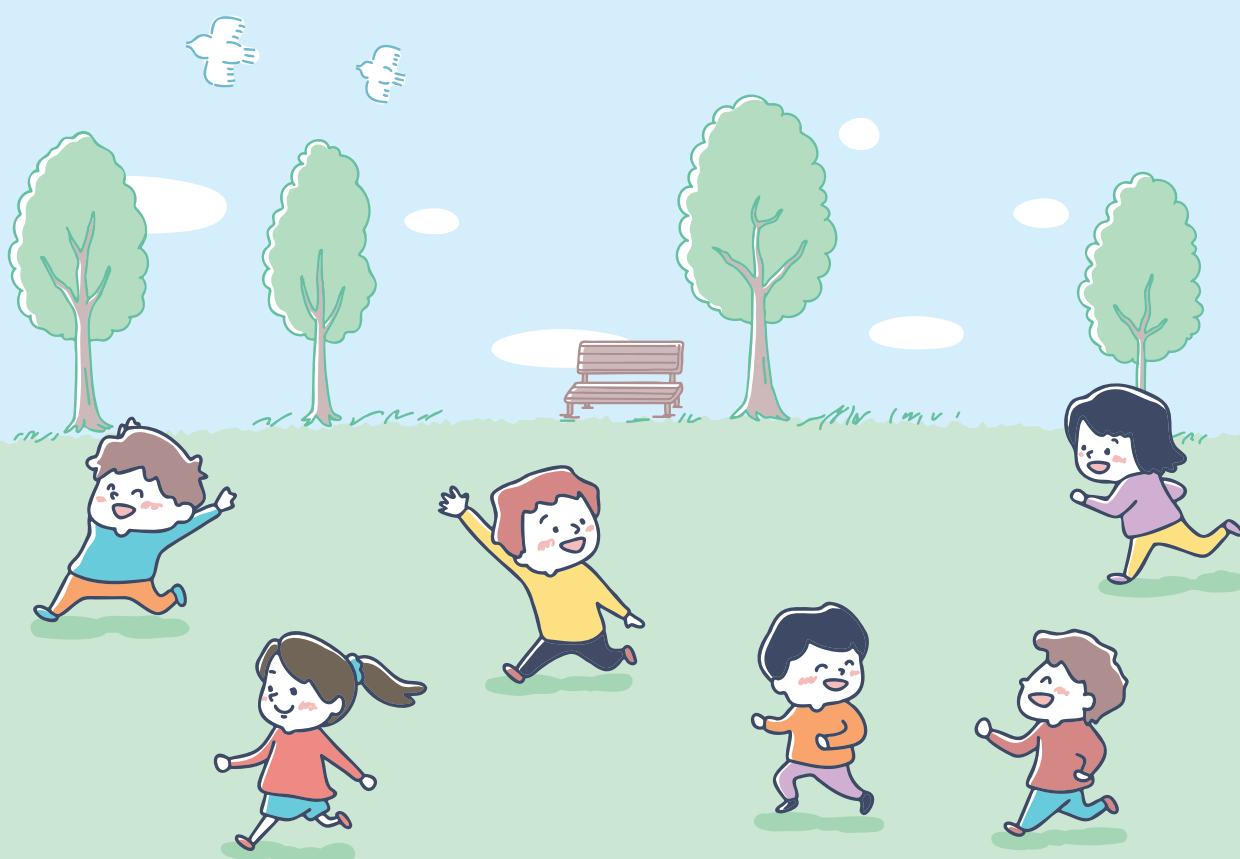
●坂東市

坂東市立七郷小学校

●桜川市

桜川市立雨引小学校

桜川市立桃山学園



これまでの作品テーマ

回	年度	種別	テーマ
1	1973	作文のみ	火事
2	1974	作文 版画	はたらく人
3	1975	作文 版画	たすけあい
4	1976	作文 版画	仲間
5	1977	作文 版画	いのちをたいせつにする
6	1978	作文 版画	遊ぶ
7	1979	作文 版画	私の家族
8	1980	作文 版画	ぼくの失敗・わたしの失敗 育てる
9	1981	作文 版画	夢中になってつくる 力をあわせる
10	1982	作文 版画	心を強くうたれたこと 働く
11	1983	作文 版画	父母（祖父母）と戦争 元気に遊ぶ
12	1984	作文 版画	自然とともに 道具を使う
13	1985	作文 版画	助けたこと、助けられたこと なかよし
14	1986	作文 版画	私のまち・むらのくらし
15	1987	作文 版画	おまつり
16	1988	作文 版画	くるまと私たちの生活
17	1989	作文 版画	動物とわたし 自由課題
18	1990	作文 版画	ぼく（わたし）の夢 自由課題
19	1991	作文 版画	たいせつなもの 自由課題
20	1992	作文 版画	私と家族 自由課題
21	1993	作文 版画	交通の発達とわたしたちの暮らし 自由課題
22	1994	作文 版画	わたしたちの大切な友だち 自由課題
23	1995	作文 版画	わたしの大好きなこと、大好きなもの 自由課題
24	1996	作文 版画	ぼくの、わたしの通学路 自由課題
25	1997	作文 版画	ぼくの夢、わたしの夢 自由課題

回	年度	種別	テーマ
26	1998	作文 版画	ぼくの家族、わたしの家族 自由課題
27	1999	作文 版画	たのしいこと・うれしいこと 自由課題
28	2000	作文 版画	失敗したこと・うまくいったこと 自由課題
29	2001	作文 版画	不思議なこと・わからないこと 自由課題
30	2002	作文 版画	好きなこと・やりたいこと 自由課題
31	2003	作文 版画	ぼくのゆめ・わたしのゆめ 自由課題
32	2004	作文 版画	ぼくの・わたしの宝物 自由課題
33	2005	作文 版画	ぼくの・わたしの大切なひと 自由課題
34	2006	作文 版画	ぼくから・わたしからの『ありがとう』 自由課題
35	2007	作文 版画	未来のぼく・わたしへ 自由課題
36	2008	作文 版画	ぼくが・わたしが「できること」 自由課題
37	2009	作文 版画	ぼくの・わたしの「将来のゆめ」 自由課題
38	2010	作文 版画	だいすきなもの 自由課題
39	2011	作文 版画	たのしかったおもいで 自由課題
40	2012	作文 版画	たすけあい 自由課題
41	2013	作文 版画	もしも1だけ願いがかなうなら 自由課題
42	2014	作文 版画	ぼくの・わたしのたからもの 自由課題
43	2015	作文 版画	ぼくの・わたしの未来～こんなおとなになりたいな～ 自由課題
44	2016	作文 版画	わすれられないこと 自由課題
45	2017	作文 版画	つづけていきたいこと 自由課題
46	2018	作文 版画	どきどき・わくわくしたいこと 自由課題
47	2019	作文 版画	新しく挑戦をしたこと 自由課題
48	2021	作文 版画	新しく見つけたこと・気づいたこと 自由課題
49	2022	作文 版画	ぼくたち・わたしたちの学校 自由課題
50	2023	作文 版画	自由課題

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 

茨城推進本部

〒310-0804 水戸市白梅 1-1-10 TEL.029-227-6642

共済ショップ日立店 〒317-0073 日立市幸町 2-3-10 TEL.0294-22-6031

共済ショップ水戸店 〒310-0804 水戸市白梅 1-1-10 TEL.029-227-6035

共済ショップ鹿嶋店 〒314-0033 鹿嶋市鉢形台 2-1-7 TEL.0299-84-6031

共済ショップつくば店 〒305-0033 つくば市東新井 17-3 TEL.029-858-6031

共済ショップ牛久店 〒300-1234 牛久市中央 1-16-1 TEL.029-873-8201

共済ショップ守谷店 〒302-0115 守谷市中央 1-20-3 TEL.0297-46-0631